

## 市民クラブ（2024. 2月議会討論）

令和6年3月15日

市民クラブ 梅原和喜

ただいま、議題となっております、第6号議案「令和6年度長崎市一般会計予算」について、賛成の立場から以下、意見を申し上げます。

### 総務委員会

まず、デジタル化 推進 施策のための各部局の予算額23億2,559万4千円が計上されています。デジタル化によって市民が必要な情報を入手し市民生活の質を高めることや職員の業務の効率化が進み市民サービスが向上するデジタル化には大いに期待するところです。一方で、市民の情報格差が発生しないよう特に高齢者には丁寧な説明をするなど、施政方針で示された「誰一人取り残さない」社会の実現を常に意識して取り組むことを求めています。

次に本年4月1日から、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されます。女性の抱える問題が多様化し複合化する中で、従来の取り組みを超え、支援施策を推進するために定められました。国と地方自治体は法の理念に則り、困難な問題を抱える女性への支援のために必要な施策を講じる責務があります。しかしながら、本予算には、施策推進のための予算が計上されていません。

困難な問題を抱える女性への支援のための基本計画を定めるなど、早急な長崎市の取り組みを求めます。

## 教育厚生委員会

次に、第10款 教育費 第6項 社会教育費において、子どもを守るネットワーク推進費468万7千円が計上されていますが、今後の対応方針として、本年4月から子どもを守るネットワークを地域コミュニティ連絡協議会へ一元化するモデル地区のスケジュールが示され、令和7年度からは拡大していくことが明らかになりました。現時点で、地域コミュニティ連絡協議会が全小学校区に設置されていない中、しかも残りひと月もない4月からのモデル地区については何も示されていません。平成17年の設立から18年かけてやっと子どもを守るネットワークという組織が、小学校の事務局を中心に構築され、地域にも認知されています。

しっかりとした方向性を確立しないままに一元化を拡大することについては再考の必要があると考えます。今一度関係先との調整を図ることを要望致します。

## 環境経済委員会

### 次に、第2款総務費 第1項総務管理費

「がんばらんば長崎市応援寄附推進費」10億2,456万9千円について。

本予算は、ふるさと納税制度を通じて、本市の魅力ある返礼品を域外へ発信し、地域経済の活性化を図るとともに、寄付額の増加を目指す事業であります。

これまで、担当部局の努力や、多くの皆様の応援を頂いて令和元年度から令和5年度まで寄付額が上昇しています。

寄付者などへのパンフレット配布や、本年10月に開業する「長崎スタジアムシティ」への来訪者や九州新幹線西九州ルートの利用者にも広くPRする等、長崎の返礼品の認知度向上に繋がって頂きたい。

## 建設水道委員会

次に第8款土木費においてまちづくりのグランドデザイン策定費 1,321 万 9 千円及び長崎駅周辺エリアデザイン検討費 1,124 万 1 千円が計上されています。

第5次総合計画、まち・ひと・しごと創成総合戦略など既存の計画がある中で、同じことを繰り返し、無駄とならないためにも、既存計画の見直しの際には成果指標、目標値、目指すべき姿を分かりやすく市民に示してほしい。

また、本年10月14日にオープンする長崎スタジアムシティプロジェクトの整備が進み、同じく土木費においては優良建築物等整備事業費（幸町地区）4億3,209万円、（仮称）Vロード整備費1,100万円が計上され、行政としても民間事業者への支援・気運醸成を図っています。これまで長崎スタジアムシティには、多額の交付金・補助金が投入され支援が行われており、経済再生の起爆剤に大きく貢献できるものと一定の理解は出来ますが、行政の支援はどこまで行うのか、軌道に乗るまでの期間と限定するのか、今後、十分な検証と投資対効果についても市民にもわかりやすく周知してほしい。

最後に、本予算は昨年の就任後、市長が組み上げた本格的な予算であります。

100年に一度のまちの変革というチャンスであると施政方針で述べられております。長崎市の経済再生、そして市民を誰一人取り残さないという強い信念で本予算の執行を行って頂くことを要望し賛成討論と致します。